

名門高校の校風と人脈

189

唐津東高校（佐賀県立・唐津市）

高橋是清も教壇に立つ 東京駅の辰野金吾や佐藤和哉

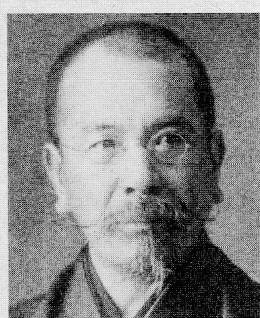
帰りの高橋是清が就いた。のちに日銀総裁、蔵相、首相になった人物だ。

高橋の薫陶を受け、明治日本の近代建築の草分けとなった辰野金吾と曾瀬達蔵の2人が巣立った。辰野は、日銀本店や東京駅の設計者として、曾瀬は東京・丸の内の三菱レング街で知られる。曾瀬の妻は高橋の実妹だ。

大正から昭和にかけての建築家で文化勲章を受章している村野藤吾は、福岡県小倉工業学校（現福岡県立小倉工業高校）卒だが、唐津で代々、船問屋を営む家に生まれ、12歳まで唐津で育った。辰野、曾瀬、村野という建築界の大御所が唐津出身であることを、唐津市民は誇っている。

耐恒寮からはさらに、経済学者で早稲田大総長を務めた天野為之、炭鉱家の吉原政道、唐津銀行の創設者、大島小太郎が巣立っている。

唐津東高校の唐津鶴城同窓



辰野金吾

佐賀県の北西に位置し、玄

界灘に面する唐津市。幕末には唐津藩小笠原家6万石が領する城下町だった。唐津湾にそぐ松浦川の河口に唐津城跡がある。復元された天守閣が街を見下ろしている。

1896（明治29）年に佐賀県尋常中学校唐津分校が開校し、1899年に分離独立して県立第三中学校となった。その年を唐津東高校の創立年としている。

2年後に唐津中学校と改称、戦後の学制改革で唐津第一高校となり、直後に男女共学の唐津高校となった。

1956年、唐津東高校と

唐津西高校に分離された。唐

津東高校には2006年、中学校が併設された。校舎は明治以来、唐津城二の丸御殿跡地にあつたが、07年に城下から2・5キロ東の現在地に移転した。

東経130度が通る

移転先の敷地内を、東経130度ちょうどの子午線が通過している。この事実を76年に卒業した野口智弘が発見し、13年3月、校内に「子午線標点」のモニュメントが据えられた。

15年12月9日には、地球観

測衛星「だいち2号」の実験に参加した。だいち2号は、

レーダーから発射した電波の反射データを利用して地形や災害の状況を観測する衛星だ。校庭にアルミ蒸着フィルムで手作りした反射鏡を置いて形どった「KH」を、だいち2号の撮影画像に写し込ませることに成功した。

唐津中学の第6代校長は、小説「次郎物語」の著者として知られる下村湖人（佐賀県立佐賀中学・現佐賀西高校卒）だ。下村が作詞を、作曲を諸井三郎（東京高等師範学校附属中学・現筑波大学附属高校卒）が手がけた校歌「天日か

がやき」は、今も歌われている。

下村作詞の校歌にある「光」「力」「望」が、唐津東高校の校訓となっている。

近代建築の草分け

学校の「起源」は明治初めまでさかのぼることができ。唐津藩が1870（明治3）年に設立した英学校「耐恒寮」だ。わずか1年半の短い間に過ぎなかったが、ここで学んだ者の中から、各界で活躍する多くの俊英が輩出した。

耐恒寮の指導者には、米國

会は「耐恒寮は我がルーツ」とし、これらの人物も「同窓生」と考えている。

裁判官の告白

官僚として活躍した人物としては、終戦直後に大蔵事務次官を務めた山田義見、通商産業省官房長で、直木賞作家、城山三郎（名古屋市立名古屋商業学校・現名古屋商業高校卒）の小説「官僚たちの夏」のモデルの一人となった川原英之がいた。

唐津市の西隣にある玄海町に、九州電力玄海原発がある。九電はその3、4号機の再稼働を目指している。玄海町の町長は、OBの岸本英雄だ。

東京電力福島第1原発での過酷事故以降、原発立地自治体の長としてその動向が注目されている人物の一人だ。

1966年に発生し、最高裁で死刑判決が確定したものの、14年3月に静岡地裁が再



熊本典道

審開始と死刑、拘留の執行停止を決定し「冤罪」が濃厚になった袴田事件。熊本典道は裁判官として、68年に1審の静岡地裁でこの事件を担当した。「無罪の心証を持っていたが、先輩裁判官2人の反対で死刑判決を書かざるをえなかった」と07年に異例の告白をした。熊本は、唐津東高校から九州大に進んだ。

経済界では、南満洲鉄道総裁の山崎元幹、播磨造船所社長に就いた横尾龍、監査法人トーマツ創設者の一人である青木大吉、親和銀行頭取を務めた青木重保が卒業している。

唐津市に本社を置く宮島醤油は、1882年創業の老舗だ。現社長の宮島清一と、父親で元社長の宮島伝兵衛、さらにその弟で元社長の宮島伝二郎が、そろって卒業生だ。

学者では、日本における歴史地理学の草分けである内田寛一、物理学者で鈴鹿短期大学長を務めた佐治晴夫、小児科、感染症疫学の南里清一郎、西洋中世哲学史の川添信介、比較教育学者で唐津市教育長の稲葉雄雄がOBだ。

教育者では、体育学者の山口久太が八千代松陰学園中

学・高校（千葉県八千代市）を創立した。漢学者の田辺新之助は、逗子開成中学（神奈川県逗子市）、鎌倉女学校（神奈川県鎌倉市）を創立した。文化人では、陶芸の唐津焼・中里家を継いだ13代中里太郎右衛門、洋画家の森通、浮世絵研究者の楠崎宗重が卒業している。

中島淳一は、演劇と絵画で幅広く芸術活動を展開している。

音楽では、佐藤和哉が篠笛奏者、作曲家として近年、注目を浴びている。13年度下半期のNHK朝の連続テレビ小説「ごちそうさん」の主題歌

「雨のち晴レルヤ」で、モチーフとして佐藤作曲の「さくら色のワルツ」が採用された。14年の日本レコード大賞優秀作品賞を受賞した。

「たんこぶちゃん」は唐津市で生まれた5人組のガールズバンドだ。その一人のCHIHARUがOGだ。

生れた5人組のガールズバンドだ。その一人のCHIHARUがOGだ。



金丸弘美

金丸弘美は食環境プロデューサーで、スローフードや地産地消などをテーマに全国を行脚している。板井典夫はフードスタイリストだ。

東大推薦入試合格

部活動が活発だ。横田菜はボート部3年だった15年、中国・武漢で開かれたアジア

ユニアボート選手権に日本代表として出場し、ダブルスカルで銀メダルを獲得した。またヨット部女子の活躍も目立つ。重由美子は96年のアトランタ五輪で、ヨット女子470級で銀メダルに輝いた。92年バルセロナ（5位）、00年シドニー（8位）と3大会連続で入賞した。

木塚忠助は、昭和期にプロ野球の南海、近鉄で遊撃手としてプレーし、守備範囲の広さと俊足で鳴らした。海軍少将で45年3月、硫黄島で戦死した市丸利之助が、

部活動が活発だ。横田菜はボート部3年だった15年、中国・武漢で開かれたアジアユニアボート選手権に日本代表として出場し、ダブルスカルで銀メダルを獲得した。またヨット部女子の活躍も目立つ。重由美子は96年のアトランタ五輪で、ヨット女子470級で銀メダルに輝いた。92年バルセロナ（5位）、00年シドニー（8位）と3大会連続で入賞した。

木塚忠助は、昭和期にプロ野球の南海、近鉄で遊撃手としてプレーし、守備範囲の広さと俊足で鳴らした。海軍少将で45年3月、硫黄島で戦死した市丸利之助が、



重由美子

唐津中学卒だ。市丸は、遺書として米国大統領のフランクリン・ルーズベルト宛の「ルーズベルトニ与フル書」を残した。太平洋戦争の責任の一端は米国にある、とする内容だ。45年7月に米国の新聞に掲載された。歌人としても知られ、歌碑が唐津市内に残っている。

16年春の大学入試では、現役、浪人を合わせ東京大2人、京都大、東京芸術大各1人、九州大20人、佐賀大32人が合格した。国公立大には現役で約6割が合格した。中高一貫教育の効果が表れ、大学合格実績は年々、上向いている。今春の東大入試では、初めて推薦入試が実施され、77人が合格した。唐津東高校を15年春に卒業した大宅匠もそのうちの一人だった。大宅は科学部に所属し、空き缶サイズの模擬人工衛星を製作、打ち上げ、運用する全国缶サット大会で活躍した。13年にベトナムで開かれた「アジア太平洋地域国際缶サット大会」で準優勝した。

（猪熊建夫・ジャーナリスト）（敬称略、会社名・肩書などは当時。次回は東京都立戸山高校（上）